

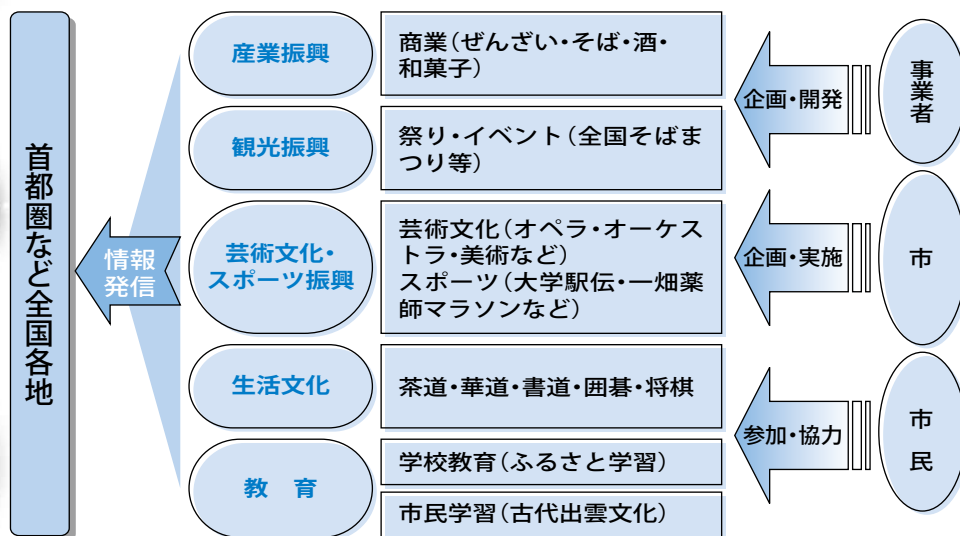


古代出雲の壮大な 『21世紀出雲「神在月」』

ロマン「神在月」 文化振興条例』を制定

神在月文化振興月間における取り組み

文化・教育・産業・観光などさまざまな分野における市・市民・事業者がそれぞれの役割を担って活動を展開し、出雲文化を全国に情報発信していきます。



10月は、全国の神々が出雲の地に集います。全国各地で陰暦10月のことを「神無月」といいますが、全国の神々が集まる出雲では、「神在月」と呼ばれています。

今回は、このほど制定した『21世紀出雲「神在月」文化振興条例』についてお知らせします。



神在月に全国から八百万の神々が集まる出雲大社

なぜ、全国の神々が
出雲に集まるの？

おおくにめしのおおみかみ あまてらすおみかみ
大国主大神が天照大御神に
国譲りをしたとき、「現世の政
事はあなたが治めください。
私は、幽れたる神事を治めま
しょう」と申された、と『日
本書紀』は伝えます。

「幽れたる神事」とは人の縁
のみならず、目に見えない縁
までも結ぶことと解され、「治
める」とは全国から神々を迎
え、和の心をもって仲良く会
議をすることと考えられてい
ます。

条例制定の目的

今日、若い人たちを中心に、
古代文化への関心や思いが希
薄になっています。

今回制定した条例では、神
在月を誇る出雲の地で、古代
出雲文化をめぐる学習・交流
の場やにぎわいの場を市民総
参加で創造することを通じて、
市民が出雲文化に自信と誇り
を持ち、出雲文化を継承・発
展させ、出雲市のさらなる躍
進を図ることを目指していま
す。そして、これを全国に情
報発信するため、教育・芸術

文化・産業など、さまざまな
分野における市や市民・事業
者の皆さんの活動の方向性を
明確にしています。

10月・11月は『神在月間』
市民総参加で盛り上げよう

条例では、古代出雲の壮大
なロマンを感じさせる10・11
月を「神在月文化振興月間」
(神在月間)と決めました。

古代出雲文化を学んだり、
茶会、囲碁・将棋などで生活
に潤いをもたらしたり、芸術
文化・スポーツの行事に参加
したり、ぜんざい・そばなど
を振る舞ったりして、この神
在月間を市民総参加で盛り上
げましょう。神在月間での取
組みは3ページののとおりで
す。また、10・11月の秋を彩
る数々のイベント情報を4ペ
ージに掲載しています。ぜひ、
この機会にお出かけください。

このような取り組みを通じ
て、市民の皆さん一人一人が
出雲を訪れる方へのおもてな
しの心と交流の場を盛り上げ、
一日も早い交流人口一千万人
を実現しましょう。

知っていますか？「出雲ぜんざいの日」 ～ぜんざい発祥の地 出雲～

ぜんざいは、出雲地方の「神在餅」
に起因しています。

出雲地方で神在月に執り行われ
る神事「神在祭」で振る舞われたのが「神在餅」。
その「じんざい」が出雲弁でなまって、「ずんざ
い」、さらには「ぜんざい」となって、京都に伝
わったと言われています。

このようなことから、ぜんざい発祥の地は出
雲にあるとして、田邊さんが中心となって、今
年7月、「日本ぜんざい学会」を設立。また、10月
31日を「出雲ぜんざいの日」(1031ゼンザイ)
として日本記念日協会へ申請し、登録が決まり
ました。



過去からのプレゼントに感謝

『神在月』は、他の地方にはな
い出雲のブランド。

歴史という過去からのプレゼン
トに感謝です。これを生かさない
手はないと思います。

文化・教育・産業・観光などそれ
ぞれの分野において、これまで仲
間うちで活動していたことを全国に向け発信することで、
この条例が生かされてくるのだと思います。新たに特別な
ことを企画しなくても、今まで行ってきた活動の中で、神
在月期間中に特典を設けたり、何かサービスをしたりする
など一味アクセントを加えるだけでも前進すると思います。
この条例制定は、出雲を知ってもらおうきっかけづくりにな
ると思います。

私も含め、各種団体の皆さんが一体となって、魅力ある
まちづくりを実現していきたいですね。



日本ぜんざい学会
会長 田邊 達也 さん

●21世紀出雲「神在月」文化振興条例
についてのおたずねは
政策課 (☎21-6614)